



●お風呂に入りながら月や星空を眺められる贅沢。壁があって外から見えないので、どの部屋にもカーテンがない。



●家族と楽しくコミュニケーションがとれる「ソラマドキッチン」。



●家の中で一番日当たりのよい場所にある洗面所。



●部屋との段差がなく、中とつながっているようなソラマドデッキ。いつでも空が眺められる最高の場所。



●明るくナチュラル感あふれるご夫婦の寝室。



●カフェのようにおしゃれでセンスの良いリビング。

**空に心癒され、人が集まる 毎日の暮らしが楽しい家**

「ソラマドの家」は、建築家・井内清志&アトリエSORAが提案するデザイン住宅。間取りにとらわれないオープンな空間づくりが特徴で、家は家族の成長に応じて自由にコーディネートしていくものと考えます。大切なのはどんな家がほしいかではなく、どんな風に暮らしていきたいか。空に向かって開かれた「ソラマド」は、既成概念から解放された、自分達らしい暮らし方を見つけ

ていくコンセプトの象徴です。そんなソラマドデッキは家族全員のお気に入り。子どもたちはシートを広げてお弁当を食べたり、ボールで遊んだり。奥様は寝転がり、スマホを眺めたり、夜は星空の写真を撮ったりしているそうです。ご夫婦共通の趣味が星空観察だという高野さん。この家に引越してから天体望遠鏡も購入しました。他にもバーベキューをしたり、七輪で魚を焼いたり大活躍の場所です。家を建ててから、学生時代の同級生やママ友達も子連れでよく集まるようになりました。いつもカウンタ

ーキッチンで、料理やお茶の準備をしながらおしゃべりしているのだから。居心地が良いのか、訪れた人はみんな長居していかれるそうです。「毎日常にしているのが楽しいです。ほぼ平屋なので老後の生活も楽しみ。ふたりでのんびり趣味を楽しんでいきたいな」と話す奥様。「ソラマド」は、家族の成長に合わせて少しずつなじんでいく道具のような家。子育てが終わり、夫婦年をとっても、自分達らしい暮らしを楽しめるパートナーであることでしょう。



Example Report

大分市 高野邸  
●木造軸組工法  
(株)リビングデザイン

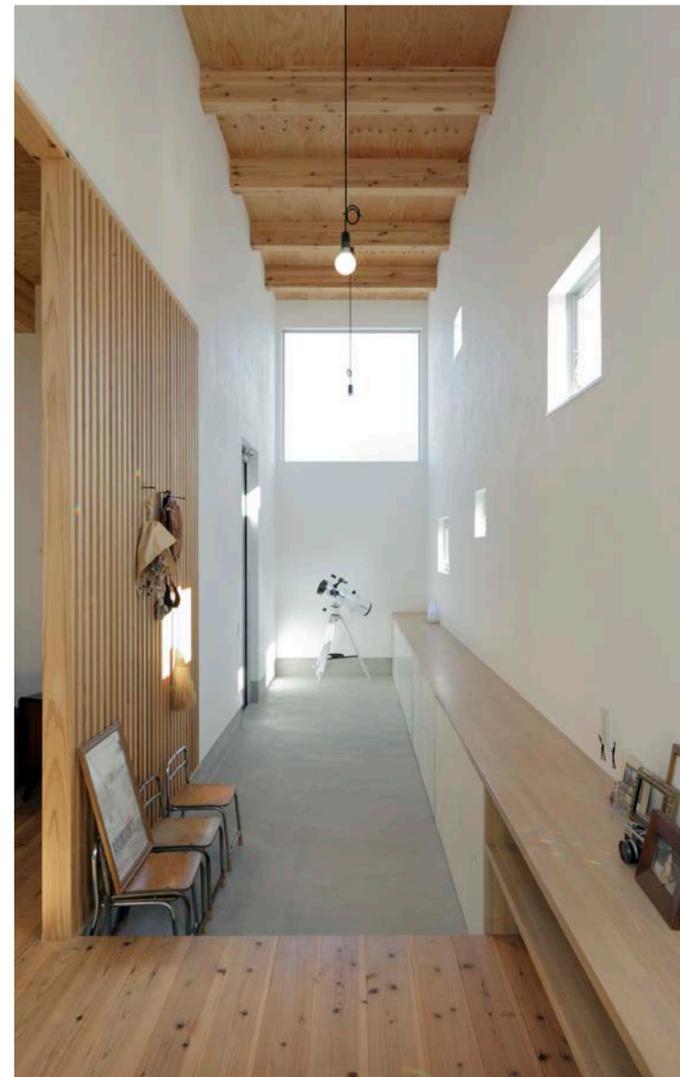
■企業DATA  
●所在地 / 大分市東大道3丁目5番27号 〒870-0823  
●建設業者許可番号 / 大分県知事許可(般-21)第12197号  
●宅地建物取引業者免許番号 / 大分県知事(1)3019号  
●設立 / 平成16年7月 ●資本金 / 300万円  
●HPアドレス / <http://www.soramado-oita.co.jp>

問合せ先 ☎(097)546-4358

実例  
レポート

建築家と建てるデザイン住宅  
自分達らしい暮らしを実現する「ソラマド」。

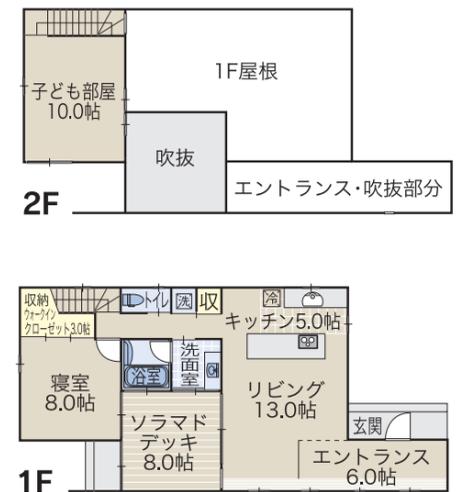
■建築DATA  
●家族構成 / 大人2人+子ども2人  
●敷地面積 / 215.71㎡ (65.3坪)  
●延床面積 / 92.74㎡ (28坪)  
●予算 / 1,900万円



●5m以上ある明るく長い玄関土間。子ども達が一輪車に乗ったり、雨の日は遊び場にもなる。



●いくつかの箱を組み合わせたようなユニークな外観。東西に長い土地を活かして玄関部分を突き出したデザイン。「毎日楽しい」と話す高野さんご一家。



**玄関が長いお店のような家  
光と開放感あふれる室内空間**

高野さんご夫婦は2人のお子さんとの4人家族。大分市郊外の奥様のご実家近くに、1年前「ソラマドの家」を建てられました。アパートに住んでいた頃、他とはちょっと違う家に住みたいと思っていたというふたり。インターネットで「ソラマドの家」を知り、資料請求しました。その後、リビングデザインが大分で建てた家を見に行き、そのかっこよさに一目惚れ。子どもたちも楽しそうに遊んでいる様子を見て、「ソラマド」を建てることに決めました。

インテリア雑貨とカメラが趣味で、可愛いものに囲まれた生活がしたかったという奥様。家に対する具体的な要望はほとんど出さず、建築家にすべてお任せしたそうです。出来上がったのは、いくつかの箱を組み合わせたようなシンプルでユニークな家。中に入ってまず驚くのは、5m以上長さがある玄関土間。木の梁を見せた吹き抜け天井と、東面の大きな高窓がダイナミックな印象です。土間をあげるとすぐリビング。間仕切りがないので、まるでカフェか旅館のロビーに来たような感じがします。家の中心は「ソラマドデッキ」と呼ばれる四角いウッドデッキ。それを囲むように、リビング、浴室、寝室がコの字型に配置されています。南面は窓が少なく壁で閉じた設計ですが、ウッドデッキの上から光が差し込み、外からは想像できないほど開放感にあふれています。



青空と暮らす家。

soramado

人から見て  
おしゃれであるよりも  
手や肌になじむ愛着の

## 「ソラマドの家」に遊びに行こう！

「ソラマドの家」は 建築家 井内 清志が提案する  
新しい暮らしのカタチ

いろいろな家でいろいろな暮らしがあるけれど、長く付き合える家がいい。  
手がかかる家もあれば、手がかからない家もある。  
だれが住んでもかまわないが、その家が愛されることが幸せを呼ぶ。  
家という器は、その中にあるものを育て、美しく見せる。そして、心地よくさせてくれる。  
しかし、居心地は常に一定しているわけではなく変化しつづけていく。  
私たちは、器の中身である間取りを自分たちの暮らしに合わせて、  
進化させていこうという考え方に基づきご提案しています。

*Kiyoshi*



**建築家 井内 清志** iuchi kiyoshi  
1958年 岡山県生まれ。  
1998年 関西電力設計コンテスト優秀賞。  
2000年 アメリカウッドアワード2000、JUKEN住宅コンテスト最優秀賞(佐伯新和氏と共同)。  
2009年 グッドデザイン賞受賞(HABITA SORAMADOモデル)



お問い合わせは

Life-labo Oita

ライフラボ大分 [(株)リビングデザイン]  
大分市東大道三丁目5-27 ●定休日：水曜  
一般建築業許可12197号

TEL.097-546-4358

http://www.soramado-oita.com



●駐車場の西側の外観。道路に面しているため、窓を最小限にして外からの視線をさえぎっている。



●上/キッチンから見たリビング。テレビも置いてないので実際にスッキリ。  
●左/昔の囲炉裏のようなコの字型カウンターキッチン。レンジフードと棚を取り付けただけのシンプルな設計。座っている人と視線が合うようにキッチン内の床は一段低くなっている。



●「ソラマドの家」での暮らしを楽しんでいる山田さんご家族。

**「ソラマドの家」を建てられた山田さんご家族の希望は、必要最小限の広さで、子どもたちを見渡せる家。リビングデザインは、庭に向かってL字型に開く片流れ屋根の平屋を提案しました。部屋はリビングと子ども部屋と寝室だけ。5人家族で床面積25坪の小さな家ですが、庭側に窓を大きくとって、外との一体感があるため、狭く感じません。**



●長い軒下で設けた広いウッドデッキ。子どもたちの遊び場にもなる。



●オープンな子ども部屋。将来は3つに仕切ってロフトをつくることも可能。

「ソラマドの家」を建てられた山田さんご家族の希望は、必要最小限の広さで、子どもたちを見渡せる家。リビングデザインは、庭に向かってL字型に開く片流れ屋根の平屋を提案しました。部屋はリビングと子ども部屋と寝室だけ。5人家族で床面積25坪の小さな家ですが、庭側に窓を大きくとって、外との一体感があるため、狭く感じません。

「ソラマドの家」が住みやすく、とても気に入っているというご夫婦。キッチンから庭が見渡せ、子ども部屋も見え、家族みんなが繋がっている感じがとてもいいのだそうです。リビングと子ども部屋に連なるウッドデッキも家族みんなが大好きな場所。日当たりが良いので布団を干したり、気がつくとその上でお昼寝していたりするそうです。軒が深いので雨降りの日に窓を開けても雨が降りこまないのも利点です。